

厳選良問

～ 都道府県⇔市町村の関係性を考える ～

分野

法律系分野

出典

社会福祉士試験(第28回試験-問題47)

問題

問題 次の福祉計画などの法定事項に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村老人福祉計画では、市町村介護保険事業計画に定められている事項を勘案する必要はない。
- 2 市町村地域福祉計画には、社会福祉を目的とする事業に従事する者の資質の向上に関する事項を定めるものとされている。
- 3 市町村障害福祉計画には、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に係る目標に関する事項を定めるものとされている。
- 4 市町村子ども・子育て支援事業計画には、子どものための現金給付に関する事項を定めるものとされている。
- 5 市町村介護保険事業計画には、介護サービス情報の公表に関する事項を定めるものとされている。

ポイント&解答

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★	★★	★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

福祉行政計画に関する問題の多くは、「市町村 or 都道府県」どちらの計画で定められる内容か、他の福祉行政計画と何らかの関連があるのか、という内容になっています。この問題は、その基本的パターンといってもいいでしょう。特に策定事項に関する問題については、その内容から判断してみると良いでしょう。

例えば選択肢5の「介護サービス情報の公表」は、都道府県(知事)がメインで行っているものですので、「都道府県が中心に行っているものを、なぜ市町村で定めるの?」という疑問をもてれば、正確に○×判断ができるかと思えます。

ケアマネの場合、介護保険事業計画以外の福祉行政計画が出題されることはまずないので、選択肢1や選択肢5だけを確認してください。

解答

3

